

土地利用に関わる指針の検討について

- 1 都市を取り巻く現状・課題について
- 2 地域別の土地利用の方向性・指針について



① 人口

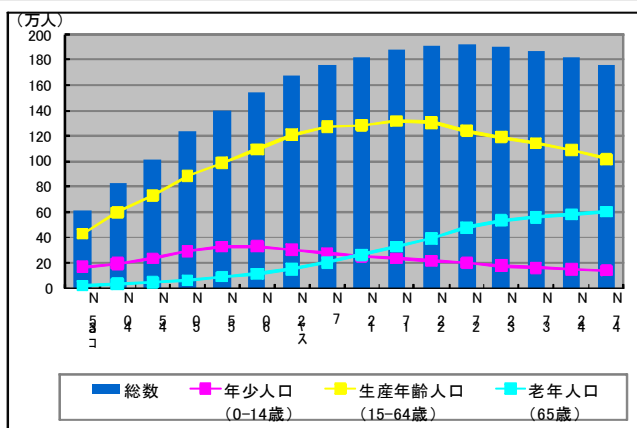


図1 札幌市の年齢別人口動向
【資料】独立行政法人人口問題研究所(平成20年12月推計)
総務省統計局「国勢調査」

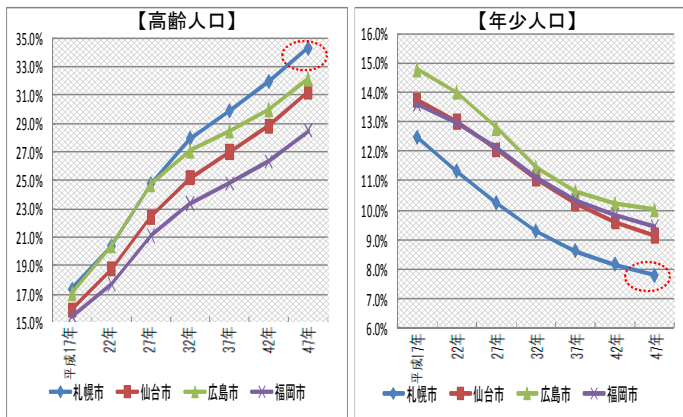


図2 人口構成比4都市比較
【資料】総務省統計局「国勢調査」

◆札幌市の人口は平成27年頃をピークに減少に転ずる。年少人口は減少が続く一方で、高齢者の人口は増加を続ける。

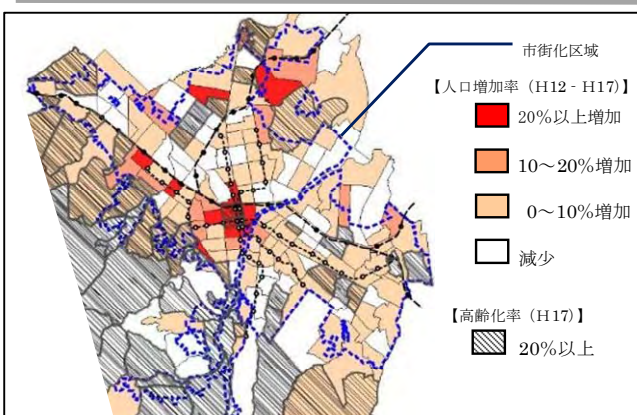


図3 統計区別人口増加率と高齢化率【H17国調】
【資料】札幌市の地域構造「平成21年地域統計報告書」

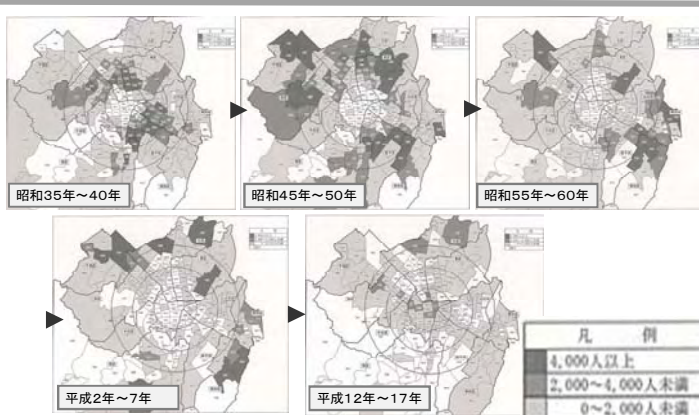


図4 統計区別人口増加の推移
【資料】市長政策室企画課「国勢調査」

◆郊外に拡散し続けていた人口の都心回帰が顕著となりつつある。一方で、郊外住宅地は高齢化が急激に進行している。

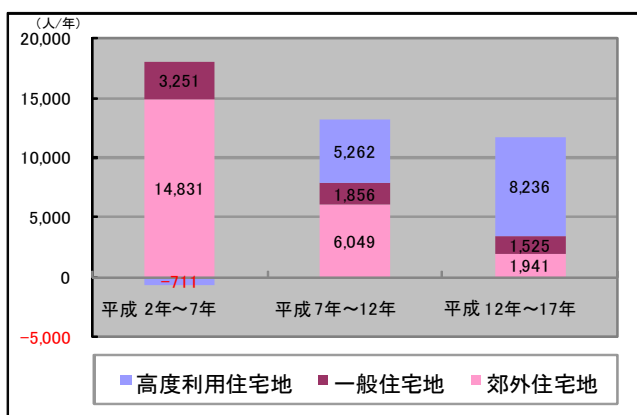


図5 住宅地区別人口増加数
【資料】総務省統計局「国勢調査」より作成

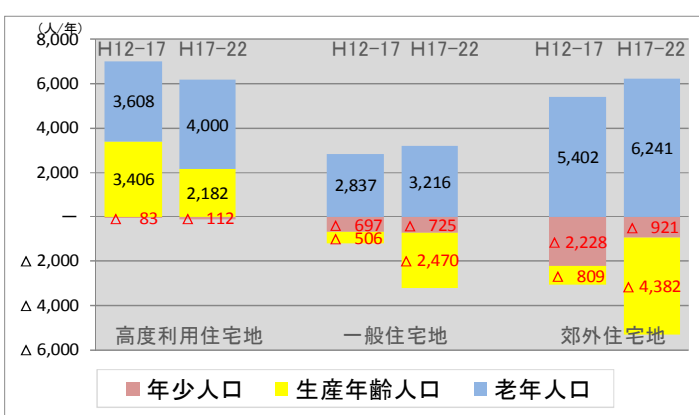


図6 住宅地区別 年齢別人口増加数
【資料】札幌市住民基本台帳人口より作成

◆人口増加は高度利用住宅地が主で郊外は鈍化。一般・郊外住宅地では老年人口のみが増加し、年少・生産年齢人口は減少。

② 交通

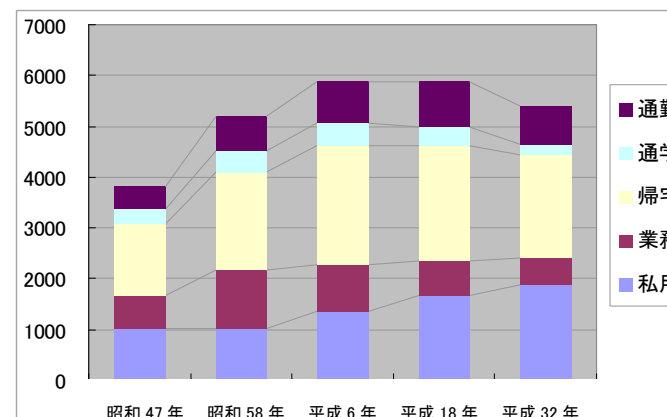


図1 目的別トリップ数の推移
【資料】道央都市圏パーソントリップ調査

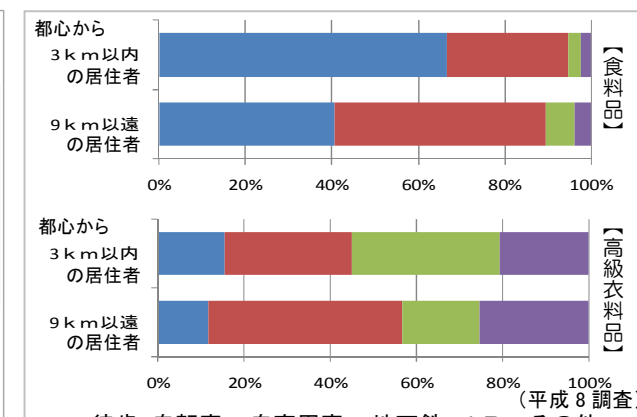


図2 本市における買物行動の利用交通手段割合
【資料】札幌市「長期総合計画の策定に関する市民意識調査」より作成

今後、総トリップ数は減少に向かうが、私用目的は増加。買物時の交通手段は、郊外ほど自動車依存の割合が高い。



図3 市区町村間の動きが増加した方向
【資料】道央都市圏パーソントリップ調査

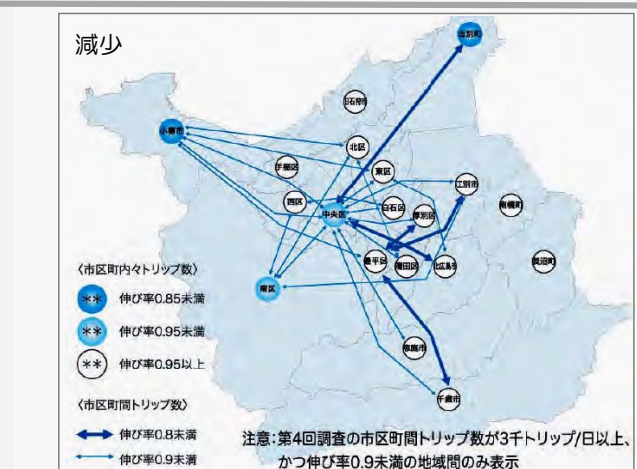


図4 市区町村間の動きが減少した方向
【資料】道央都市圏パーソントリップ調査

中央区へ向かうトリップ数は減少する一方で、清田区、手稲区と周辺市町間のトリップの増加が顕著である。

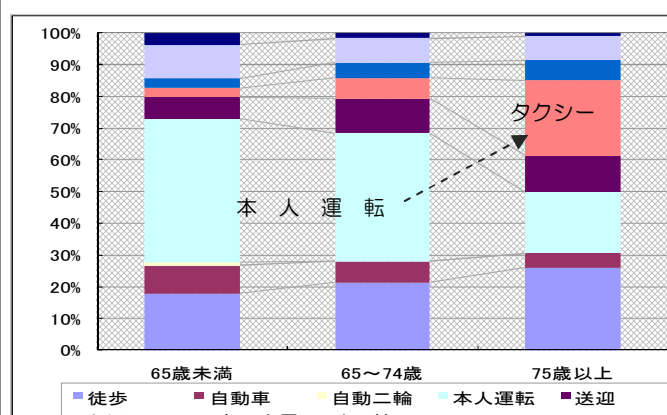


図5 年齢別交通手段(全目的) (2006年)
【資料】道央都市圏パーソントリップ調査

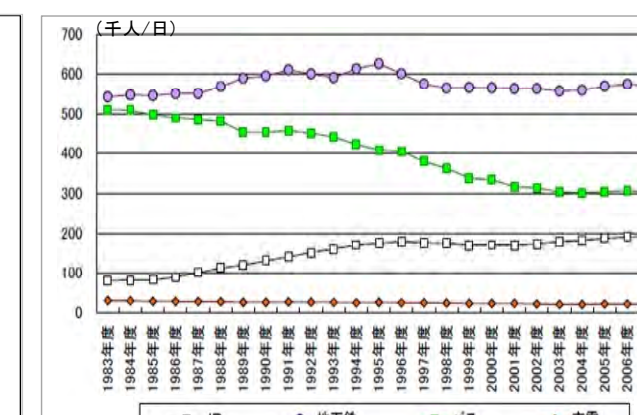


図6 札幌市内交通機関別平均乗車人員
【資料】札幌の都市交通データブック

高齢者は運転が困難になると、地下鉄等の公共交通ではなくタクシーを利用。公共交通の中ではバスの利用の減少が顕著。

③ 環境



図1 札幌市、国、北海道の部門別CO2排出割合
【資料】札幌市温暖化対策推進ビジョン案

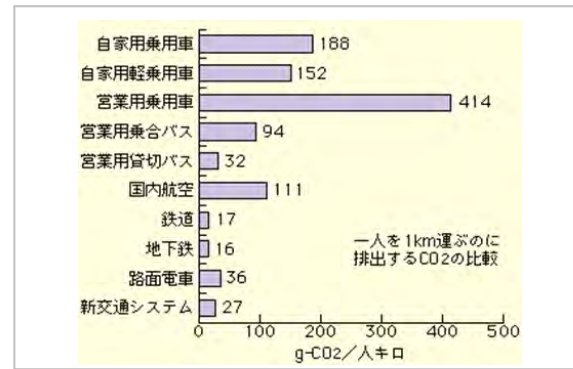


図2 旅客輸送機関のCO2排出原単位(平成12年)
【資料】国土交通省

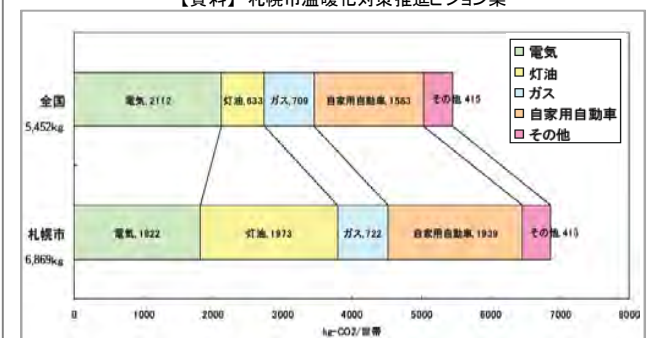


図3 札幌市における1世帯あたりの年間CO2排出量
【資料】札幌市環境審議会温暖化対策部会第1回会議資料

◆札幌市におけるCO2排出量は民生・運輸部門が多い。特に全国平均と比較して、灯油使用、自家用自動車の利用による排出が多い。

④ 財政

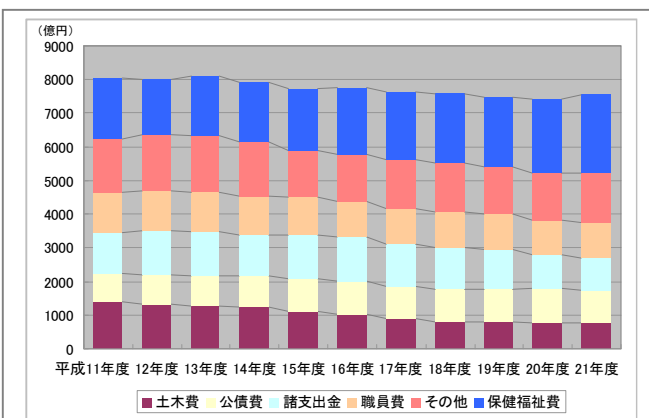


図1 予算の推移
【資料】札幌市財政局「財政統計」

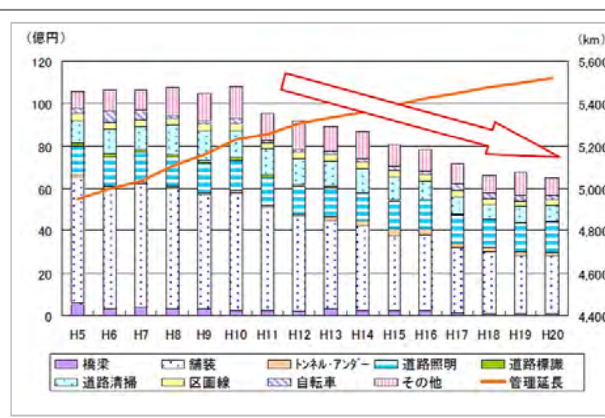


図2 道路維持管理関係費の推移
【資料】札幌市建設局「道路維持管理基本方針(案)」

◆予算総額が減少する一方で保健福祉費は増加傾向にあり、基盤整備や維持、除雪等に充てられる土木費は減少する傾向にある。

一方で、特に除雪に関する市民ニーズは依然として高く「冬の暮らしを支えるボランティア制度」をはじめとして、市民・企業との協働による取り組みを推進している。

◆社会基盤の整備率は非常に高い水準にある。

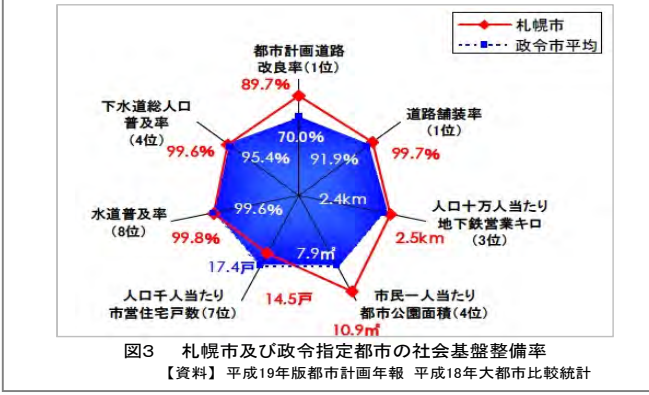


図3 札幌市及び政令指定都市の社会基盤整備率
【資料】平成19年版都市計画年報 平成18年大都市比較統計

⑤ 住宅

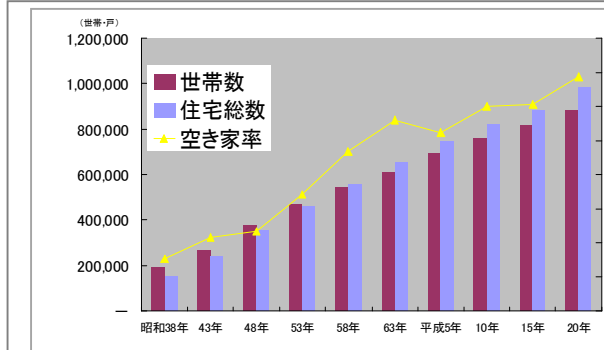


図1 空家数の推移 【資料】総務省統計局「平成20年住宅・土地統計調査」

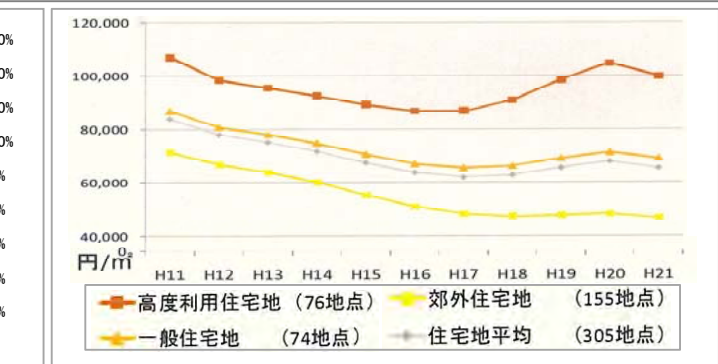


図2 住宅地区別地価動向(地価公示)

◆空き家率は一貫して増加。地価動向は、利便性の高い高度利用住宅と比較し、郊外住宅地の落ち込みが著しい。

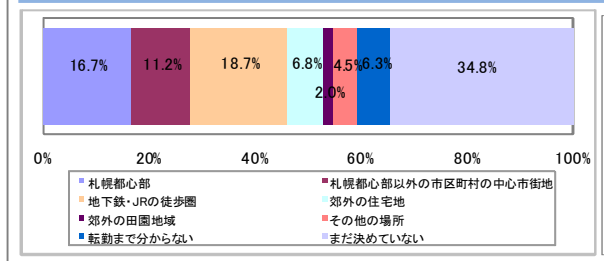


図3 今後の住み替え希望場所の意識調査(平成18年現在)
【資料】第4回道央都市圏パーソントリップ調査

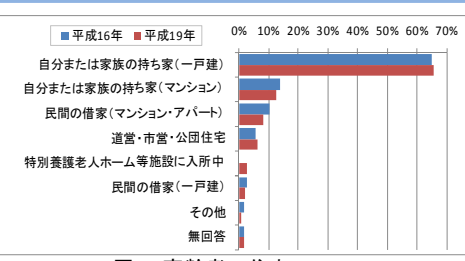


図4 高齢者の住まい

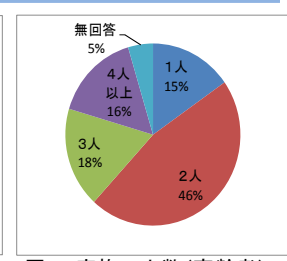


図5 家族の人数(高齢者)

◆住み替え希望場所は都心周辺や地下鉄駅周辺等が多い。高齢者は、多くが持ち家(一戸建)住まいで、1、2人暮らしが大半。

⑥ ライフスタイル

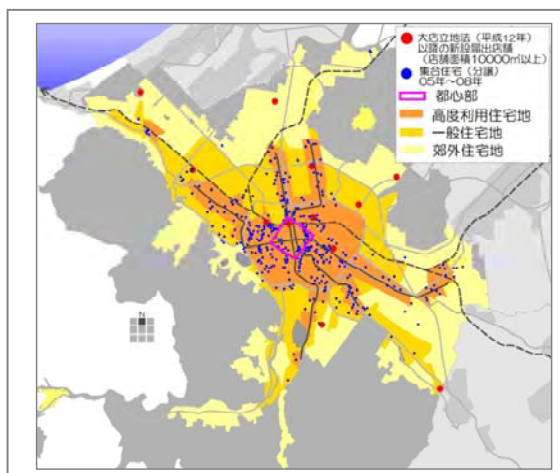


図1 大規模商業・共同住宅の開発動向
【資料】都市計画基礎調査(平成20年) 各年 大規模小売店舗法届出

◆大型店舗等はその多くが郊外に立地。

◆高齢者の外出目的は、買物・通院が多い。

◆消費者は購入商品別に買物先を選択しており、「生鮮食料品」については、身近な食品スーパーのニーズが高い。

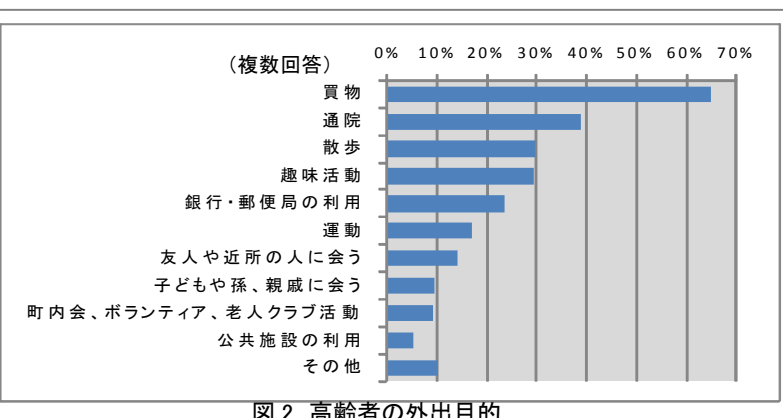


図2 高齢者の外出目的
【資料】札幌市保健福祉局「高齢社会に関する意識調査」(平成19年調査)

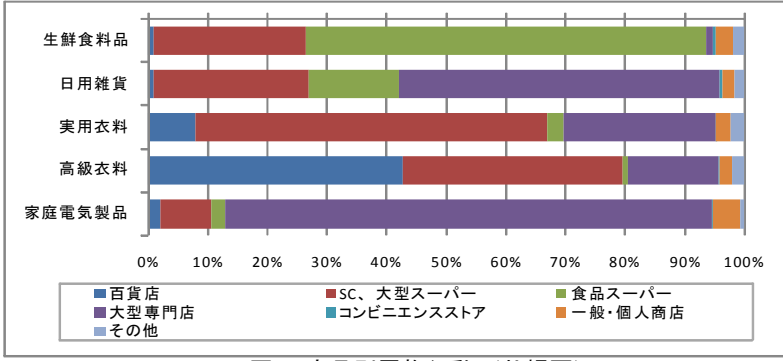


図3 商品別買物行動(札幌圏)
【資料】北海道経済部「平成21年北海道広域商圏動向調査」